

日本トリム (6788)

連結通期 (百万円)		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
FY03/2019		15,179	2,250	2,121	1,250	157.05	60.00	2,162.68
FY03/2020		16,116	2,303	1,007	218	27.67	70.00	2,128.85
FY03/2021会予		15,200	2,350	2,450	1,640	210.46	60.00	-
FY03/2020	前年比	6.2%	2.4%	(52.5%)	(82.5%)	-	-	-
FY03/2021会予	前年比	(5.7%)	2.0%	143.1%	650.7%	-	-	-
連結半期 (百万円)		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
1Q-2Q FY03/2020		8,693	1,615	1,517	1,002	-	-	-
3Q-4Q FY03/2020		7,423	687	(510)	(783)	-	-	-
1Q-2Q FY03/2021		7,393	1,160	1,230	796	-	-	-
3Q-4Q FY03/2021会予		7,806	1,189	1,219	843	-	-	-
1Q-2Q FY03/2021	前年比	(15.0%)	(28.2%)	(18.9%)	(20.5%)	-	-	-
3Q-4Q FY03/2021会予	前年比	5.2%	73.0%	-	-	-	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

1.0 エグゼクティブサマリー (2021年1月14日)

Web 販売への注力

電解水素水整水器の拡販を中心として事業を展開する日本トリムは、Web 販売の立ち上げに対する注力を進めている。従来からの主力販売チャネルである、いわゆる職域販売におけるセミナーは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、2020年5月にはほとんど開催することができなくなったのだが、その後においては回復が引き続いており、2020年10月のセミナー開催数としては前年同月と同水準が達成されている。一方、2020年12月8日、同社は、Webでの直販用に開発した『トリムイオン CURE』を発売している。また、年度末(2021年3月)までにWeb販売施策に係る先行投資(概ね300百万円)を実施するとのことで、2022年3月期に向けては、Web販売が本格的に立ち上がっていく模様である。再生医療分野や電解水透析システムにおいても新型コロナウイルス感染症の影響は不可避なのだが、再生医療分野の直近の動向においては、Webマーケティングへの注力に伴う売上高の回復が認められるとのことである。また、再生医療分野や電解水透析システムの中長期的な成長の目途は立っているとのことである。代表取締役社長である森澤紳勝氏は、2020年10月29日に開催された決算説明会において、「グローバルなメディカルカンパニー」へと徐々に推移していくための経営施策に積極的に取り組み続けていることを明らかにしている。

IR 窓口: 経営企画部 (06-6456-4633 / ir@nihon-trim.co.jp)

2.0 会社概要

グローバルなメディカルカンパニーへ

商号	株式会社日本トリム Web サイト IR 情報 最新株価	 NIHON TRIM CO.,LTD.
設立年月日	1982年6月12日	
上場年月日	2004年3月1日：東京証券取引所第1部（証券コード：6788） 2003年2月4日：東京証券取引所第2部 2000年11月28日：JASDAQ店頭登録	
資本金	992百万円（2020年9月末）	
発行済株式数	8,656,780株、自己株式内数881,458株（2020年9月末）	
特色	<ul style="list-style-type: none">● 厚生労働省が家庭用の管理医療機器として認定する電解水素水整水器で国内首位● 対面販売への注力に加えて、Web販売を立上げ中● 再生医療分野や電解水透析システムでの拡販を推進	
事業セグメント	I. ウォーターヘルスケア事業 II. 医療関連事業	
代表者	代表取締役社長：森澤 紳勝	
主要株主	森澤 紳勝 43.09%、日本カストディ信託口 9.56%、日本マスター信託口 4.41%、三井住友銀行 1.54%（2020年9月末、自己株式を除く）	
本社	大阪市北区	
従業員数	連結 578名、単体 334名（2020年9月末）	

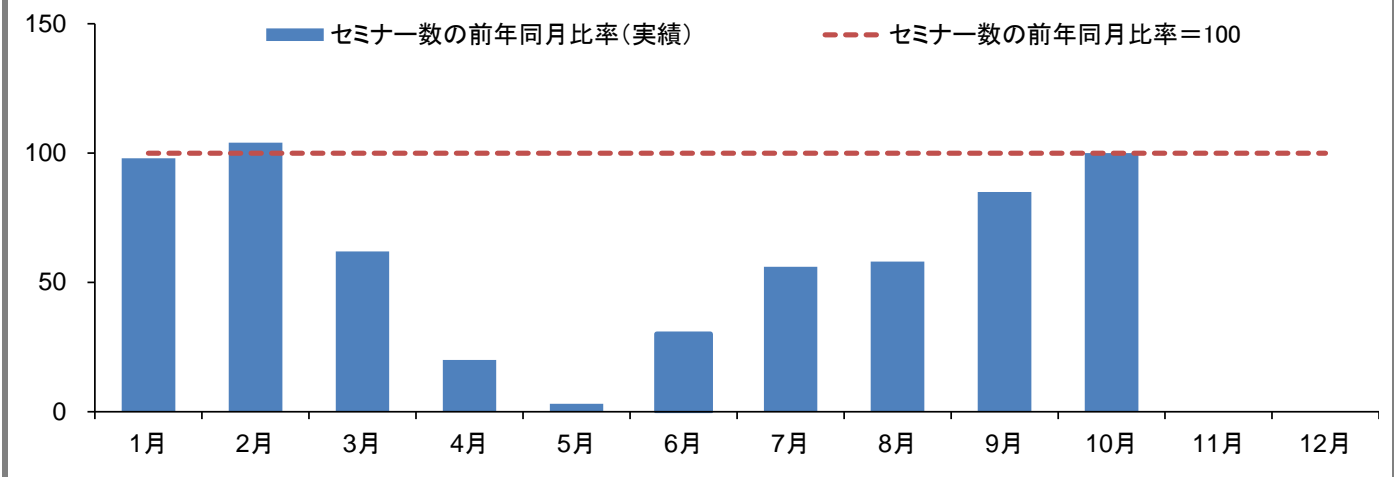
出所：会社データ

3.0 業績推移

2021年3月期第2四半期累計期間

2021年3月期第2四半期累計期間は、売上高 7,393 百万円（前年同期比 15.0%減）、営業利益 1,160 百万円（28.2%減）、経常利益 1,230 百万円（18.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 796 百万円（20.5%減）での着地である。また、営業利益率 15.7%（2.9%ポイント低下）である。当初の会社予想（開示：2020年5月14日）の前提との比較では、大きく上振れた業績推移である。上振れ幅は売上高で 1,203 百万円（19.4%）、営業利益で 800 百万円（222.2%）に及んでいる。

2020年における職域販売のセミナー数／月次推移

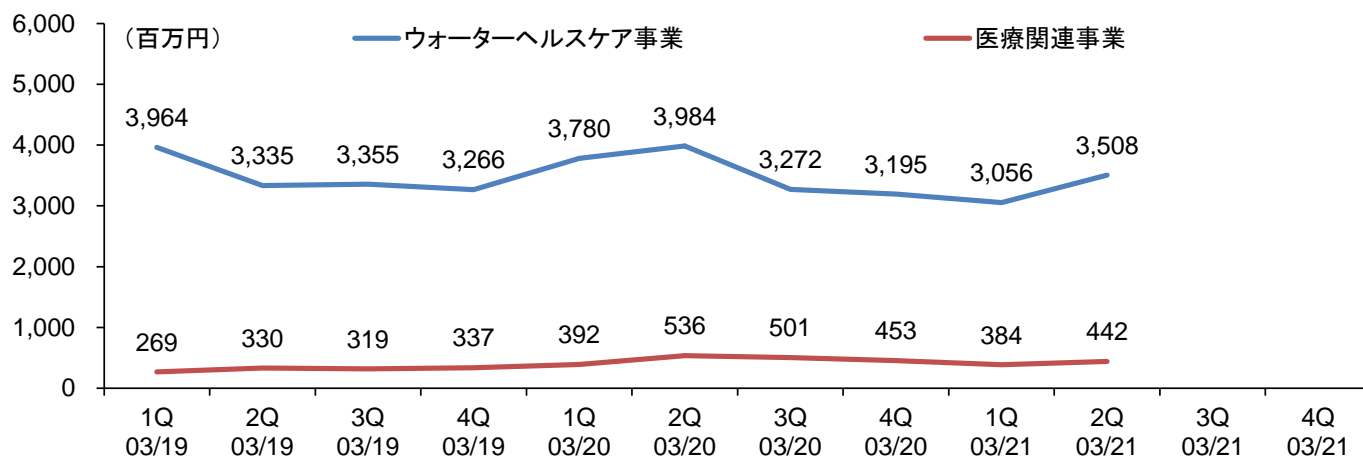


出所：会社データ、弊社計算

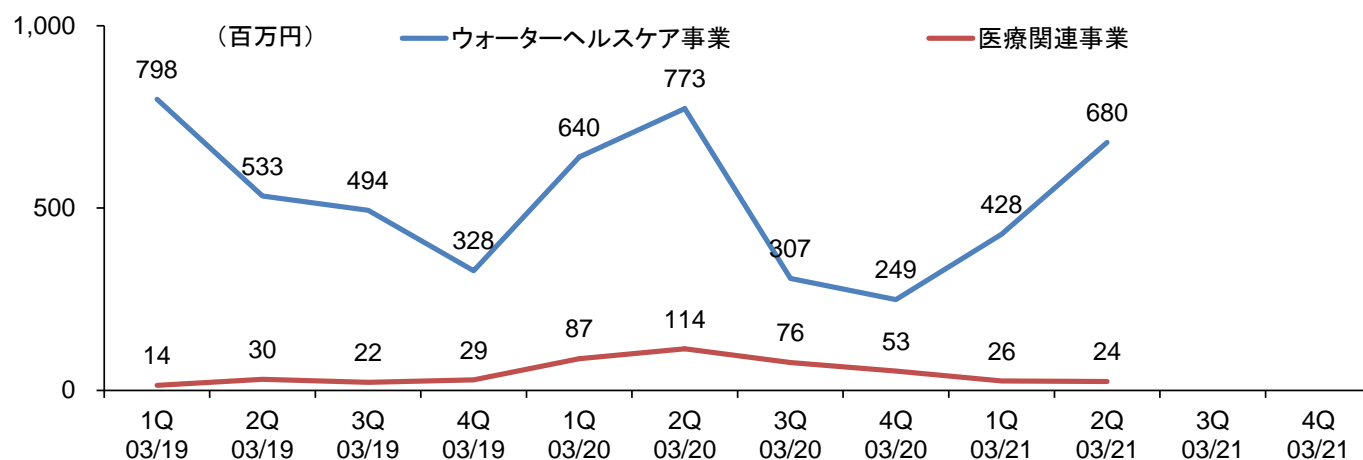
2021年3月期に対する当初の会社予想は、新型コロナウイルス感染症の影響により先行きが不透明な状況下で策定されているため、かなり保守的な前提が用いられていた模様である。主力の職域販売では、期初（2020年4月）よりセミナー数が大幅に減少し、2020年5月の実績としては、セミナーをほとんど開催できなかったとのことである。しかし、その後においては、健康経営提案による企業一括導入や地場の有力中小企業を中心とした営業展開が奏功しているとのことである。

第2四半期累計期間における事業セグメント別の業績推移としては、ウォーターヘルスケア事業でセグメント売上高 6,565 百万円（15.5%減）、セグメント利益 1,109 百万円（21.6%減）、セグメント利益率 16.9%（1.3%ポイント低下）である。売上高構成比 88.8%、営業利益構成比 95.6%と、同社としての業績推移に対して大きな影響を及ぼしている。一方、医療関連事業でセグメント売上高 827 百万円（10.8%減）、セグメント利益 51 百万円（74.5%減）、セグメント利益率 6.2%（15.5%ポイント低下）である。

セグメント売上高



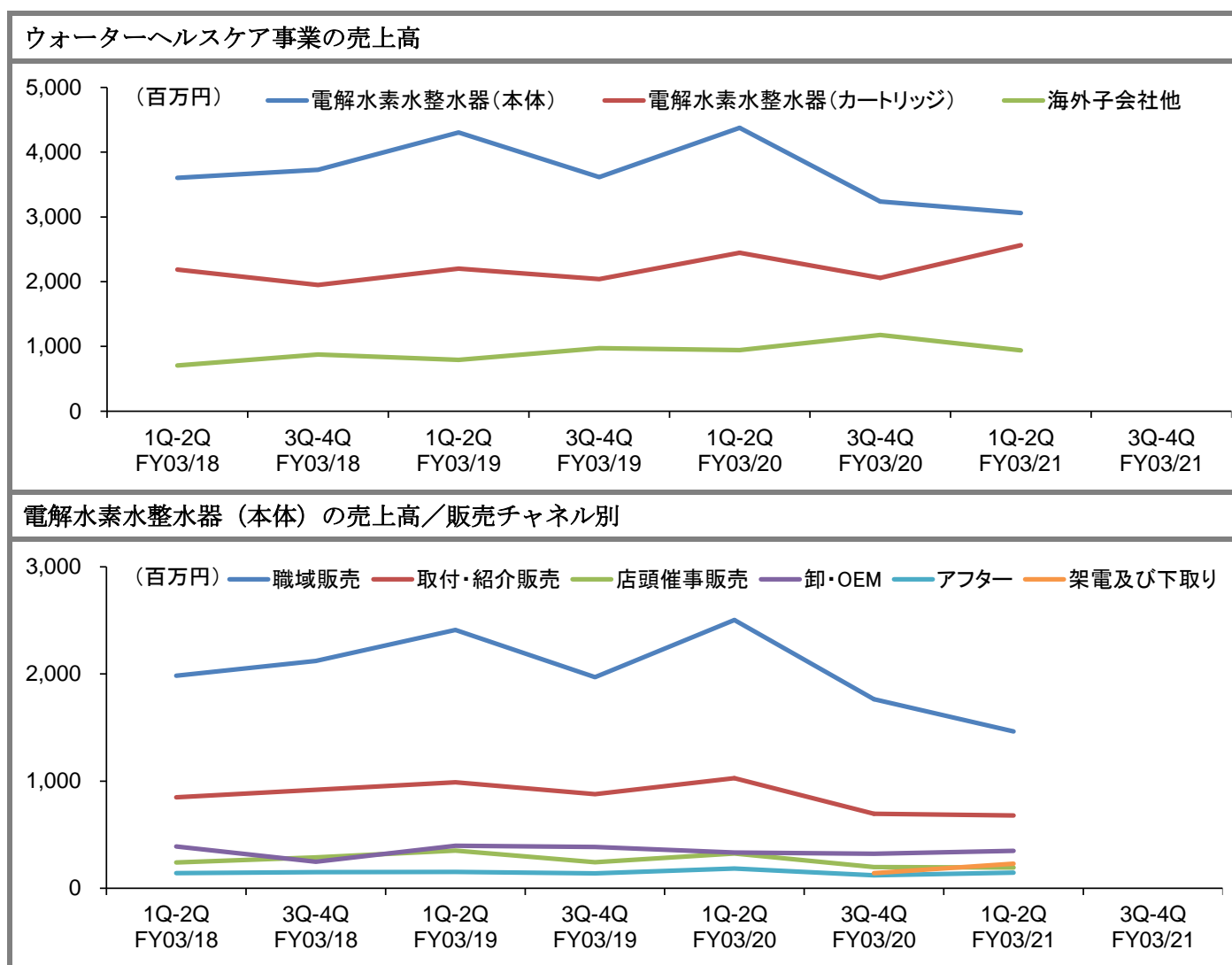
セグメント利益



出所：会社データ、弊社計算



ウォーターヘルスケア事業

ウォーターヘルスケア事業の第2四半期累計期間においては、電解水素水整水器（本体）で売上高 3,063 百万円（30.0%減）、電解水素水整水器（カートリッジ）で売上高 2,562 百万円（4.7%増）、海外子会社他で売上高 938 百万円（0.3%減）である。電解水素水整水器（本体）に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて売上高が前年同期を大幅に下回っているものの、下半期に向けては売上高が前年同期を上回る見込みとのことである。主力の職域販売においては、先述の通り、セミナー数が既に前年同月の水準まで回復している一方、販売効率が向上しているとされている。また、ストックビジネスとしての特色がある電解水素水整水器（カートリッジ）の売上高は増加を続けている。



出所：会社データ、弊社計算

電解水素水整水器（本体）には、浄水用のカートリッジが内蔵されている。また、浄水用のカートリッジは、本体の使用開始後1年経過（流量にして10,000リットル：1日当たり概ね27リットル）を目途として交換することが推奨されており、その後においても同様である。そして、この交換に際して電解水素水整水器（カートリッジ）の売上高が計上されている。

電解水素水整水器『トリムイオン GRACE』	カートリッジ
 <p data-bbox="164 499 715 528">標準価格 248,000 円（税抜／取付工事費別）</p>	 <p data-bbox="970 499 1305 528">標準価格 12,000 円（税抜）</p>

出所：会社データ

同社の電解水素水整水器は、胃腸を整える効果が厚生労働省によって認められている、家庭用の管理医療機器である。新型コロナウイルス感染症が蔓延している現状においては、免疫力に深く関与しているとされる腸を整える効果があることから、同社の電解水素水整水器への関心が高まっている側面があるとのことである。同社は、日々の飲用水を、「きれいな水」から「からだによい水」に変えていく「ウォーターヘルスケアという、新習慣」を提唱している。

現状における主力製品である『トリムイオン GRACE』を、上述の推奨に沿って5年間使用した場合、電気代やその他の費用をすべて含めても、1リットル当たりのコストが概ね7円とのことであり、中長期的な観点においては、ペットボトルの水やウォーターサーバーを購入した場合との比較で、相当にコストパフォーマンスが良いとされている。また、カートリッジの売上高が増加を続けていることに鑑みれば、既存のユーザーにおける満足度やロイヤリティは高い模様である。

電解水素水整水器（本体）の売上高を販売チャネル別で観ると、売上高の半分近くが職域販売によって占められている。職域販売では、同社の担当者が、代理店である大手商社、メーカー、生協などの紹介で個別に企業を訪問し、特定の職域に属する社員に対してセミナーを開催することを通して、同社の電解水素水整水器の特徴などの説明を行っている。そして、職域販売では、これに際して発生する売上高が計上されている。直近の動向においては、新型コロナウイルス感染症の蔓延に際する健康意識の高まりもあり、販売効率が向上しているとのことである。また、取付・紹介販売では、同社の担当者が本体の取付を目的として個人宅を訪問する際に、当該個人からその親族や友人の紹介を得て本体を販売する際の売上高が計上されている。

店頭催事販売では、スポーツジムや量販店、百貨店での催事販売を通した売上高が計上されており、卸・OEM販売では、卸売販売及びOEM販売を通した売上高が計上されている。そして、アフターでは、本体のメンテナンスに際する買換えの売上高が計上されており、架電及び下取では、長期間（概ね6年以上）に及んで本体の使用を続けているユーザーに対して本体の買換えを促すことによって発生する売上高が計上されている。即ち、卸・OEMを除いた場合、同社は、基本的に対面販売の展開を通して本体を販売していると考えられよう。

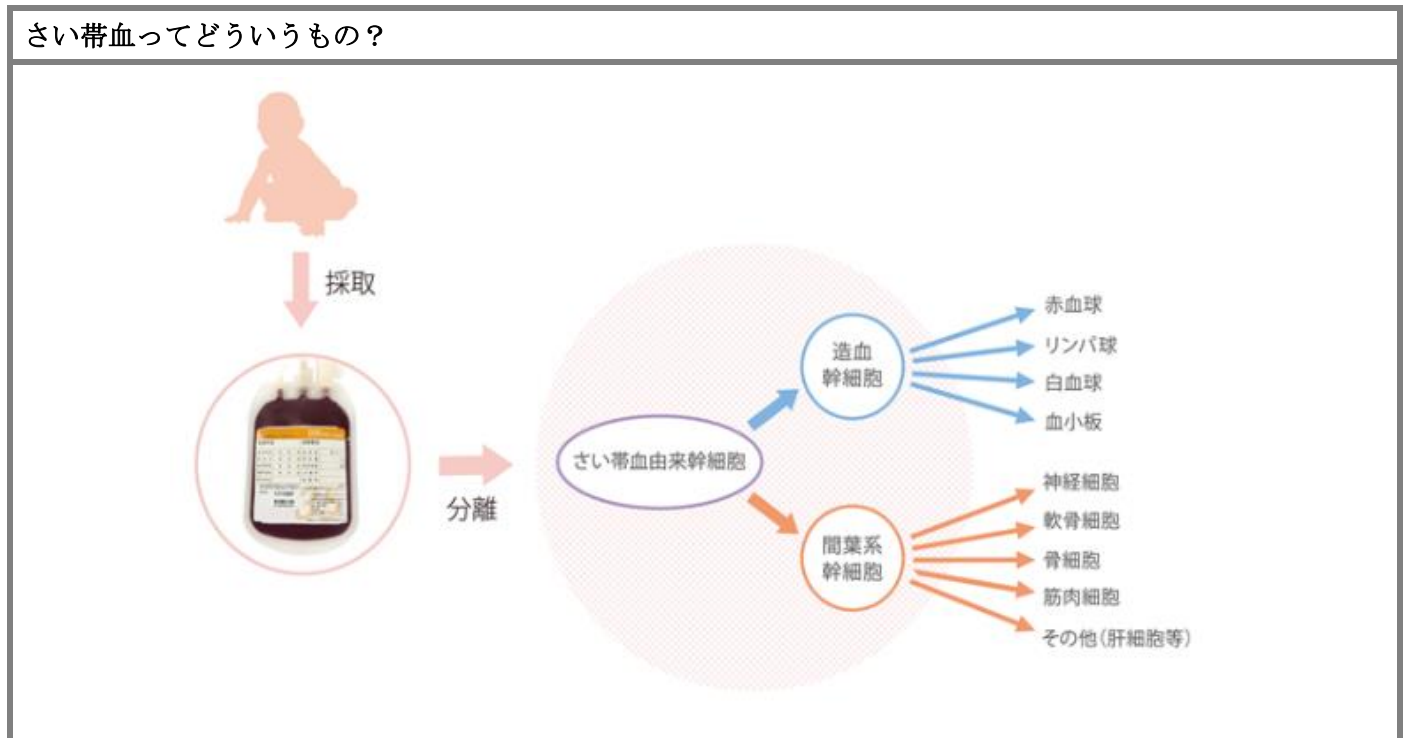
現状に至る経緯において、同社は、電解水素水整水器に係る顧客を概ね85万件に及んで開拓しているとのことであり、また、その内の50万件ほどに関しては、本体を自社で管理しているとのことである。一方、日本国内の世帯数は概ね50百万世帯であるのに対して、電解水素水整水器の普及は将来的に10百万世帯まで拡大するポテンシャルがあるとされている。同社は、この段階において300万件の顧客並びにカートリッジで売上高20,000百万円（年間交換率70%を想定）を達成することを目標として掲げている。

顧客 300 万件の早期達成を試みている同社は、①「Web 販売チャネルの構築」、②「より汎用性の高い新製品開発」を進めていくとしている。同社は、年度末（2021 年 3 月）までに Web 販売施策に係る先行投資（概ね 300 百万円）を実施することを明らかにしている一方、2020 年 12 月 8 日、Web での直販用に開発した、低価格帯の『トリムイオン CURE』を発売している。これにより、従来との比較でより厚みのあるユーザー層に対する拡販を進めていけることになるとされている。

一方、ウォーターヘルスケア事業には、海外子会社などの売上高も含まれている。第 2 四半期累計期間においては、中国の子会社である広州多寧健康科技有限公司で売上高 35 百万円（11.3%減）、インドネシアの子会社である PT SUPER WAHANATEHNO で売上高 597 百万円（2.8%増）、その他で売上高 306 百万円（4.4%減）である。インドネシアの子会社においては、現地のパートナーであるシナルマスグループとの協業を通して、ボトルドウォーター事業が展開されている。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、小売店に対して卸売販売している主力のペットボトルの販売量が減少しているものの、各家庭に配達することを通して販売しているガロンの売上高は堅調に推移しているとのことである。

医療関連事業

医療関連事業の売上高の多くは、再生医療分野によって占められている。第2四半期累計期間においては、再生医療分野で売上高 684 百万円（15.4%減）、電解水透析及びMGO測定で売上高 95 百万円（4.2%増）、その他で売上高 47 百万円（73.5%増）である。再生医療分野の売上高のほとんどは、国内最大（市場シェア：概ね 99%）の民間さい帯血バンクを運営する、同社の子会社である株式会社ステムセル研究所によって占められている。また、この子会社は、2020年12月8日、東京証券取引所に株式上場申請を行っている。一方、同社は、持分法適用会社を通して中国での病院経営にも関与している。



出所：[株式会社ステムセル研究所](#)

さい帯血とは、胎児が母体から栄養や酸素を受け取るために胎盤とへその緒の間で巡らせている血液のことである。また、この中に含まれている幹細胞（stem cell）が、多様な疾病の治療に役立つのではないかと注目されている。1993年以降においては、白血病などの難治性血液疾患の患者への移植医療が確立されており、さい帯血の有用性が広く認知されるに至っている。

第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響による医療施設への立ち入り制限が発生しており、さい帯血の保管に係る売上高が伸び悩んだとのことである。ただし、直近の動向においては、Webマーケティングへの注力に伴い、売上高が前年同期と同水準までに回復してきているとのことである。また、中長期的な観点におけるさい帯血に対する保管需要は拡大を続けるとのことで、同子会社は、将来の需要拡大に向けて、神奈川県横浜市でCPC（Cell Processing Center：細胞培養加工室）の設備を増設中とのことである。2021年3月には、この増設が完了する予定である一方、その後においては、最大処理能力が現状の2.5倍に拡大するとのことである。また、細胞バンク、細胞医薬品開発、海外展開など、同子会社には中長期的に横展開を進めていける大きなポテンシャルがあるとされている。

多人数用透析用水作製装置『EW-SP75』



出所：会社データ

電解水透析及び MGO 測定の上高における主な内容となっているのは、同社が開発し市場に投入している電解水透析システムである。第 1 四半期には、関東圏の中核施設とされる聖路加国際病院（東京都中央区）に多人数用の電解水透析システム（45 床）が導入されているのに引き続いて、第 2 四半期においては、東海地区の大手透析病院に 2 台（90 床、63 床）が導入されている。現状においては、総計 716 床において概ね 2,000 名に及ぶ患者が、同社の電解水透析システムを利用した透析を受けるに至っているとのことである。

一般的な血液透析では、尿毒素に汚染された血液を体外に導き、人工腎臓とも呼ばれるダイアライザーにその一定量の血液を送り、老廃物除去、電解質補正、過剰水分除去を行い、血液をきれいにして体内に戻す方法が採られている。この血液透析には 1 回当たり約 120 リットルの透析液が必要となるのだが、その透析液は透析液の原液または粉末を透析用水で希釈して生成される。そして、この透析用水として電解 RO 水を生成するのが、同社の電解水透析システムである。ここで生成される電解 RO 水においては、水素を含む電解陰極水が RO 処理されており、一定の水素が溶存することによってユニークな特性が付加されるとのことである。即ち、血液透析の生体適合性が向上し、酸化ストレスなどの副作用が低減するとのことである。

2018 年に発行されている英国科学誌「Scientific Reports」では、同社の電解水透析システムの導入により死亡及びその原因となる疾病が 41%減少したという内容の論文が発表されている。これを契機として、同社の電解水透析システムの認知度が大きく向上しており、期待も高まっているとのことである。また、将来に向けては、国内に加えて海外にも進出し、次世代のグローバルスタンダードとしての確立を目指すとのことである。

一方、同社は、2020 年 4 月 21 日、標準化、コンパクト化、軽量化した新製品（『EW-SP75』）を発売しており、今後に向けて売上高が大きく拡大していくポテンシャルが高まっているとのことである。従来の受注生産によるシステムとの比較では、利用可能となる病院などの医療機関数が飛躍的に増加しているとのことである。

中国での病院経営に関しては、持分法適用会社を通して展開されているため、その業績推移は営業外損益の持分法投資損益において反映されている。2020年3月期においては、大幅な損失が計上されている。同社が経営に
関与している北京の漢琨（はんくん）病院が新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことが主因である。同社
においては、この北京の病院に係る投資回収が長引くことが想定されるに至り、貸付金の全額（1,100百万円）
を引当金として保守的に計上したとのことである。また、これを含めて投資額の全額が既に損失として計上され
ているとのことである。結果、この北京の病院の業績推移は、2021年3月期における同社としての業績推移に
対して影響を及ぼさないとされている。

現状に至る経緯において、この北京の病院では、公的保険の適用承認を待機している状態が引き続いており、本
格的な稼働に向けての準備を進めている段階にあるとされている。ここでの承認が得られれば、公的保険治療を
始められることになり、患者数が確実に増加していくとのことである。また、収益性の高い自由診療も増加して
いくことになるとされている。中国においては、公的保険の適用承認をもって一定の「医療圏」が割り当てられ
るとされており、これに伴い上述のような動きがでてくる見込みとのことである。

損益計算書（四半期累計／四半期）

損益計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2020	2Q累計 03/2020	3Q累計 03/2020	4Q累計 03/2020	1Q 03/2021	2Q累計 03/2021	3Q累計 03/2021	4Q累計 03/2021		
売上高	4,172	8,693	12,467	16,116	3,441	7,393	-	-	(1,300)	
売上原価	1,181	2,505	3,633	4,757	1,010	2,172	-	-	(333)	
売上総利益	2,991	6,187	8,833	11,359	2,431	5,220	-	-	(967)	
販売費及び一般管理費	2,263	4,572	6,833	9,056	1,975	4,059	-	-	(512)	
営業利益	728	1,615	2,000	2,303	455	1,160	-	-	(455)	
営業外損益	(67)	(97)	(150)	(1,295)	26	70	-	-	+167	
経常利益	660	1,517	1,849	1,007	482	1,230	-	-	(287)	
特別損益	-	14	14	10	-	10	-	-	(3)	
税金等調整前純利益	660	1,532	1,863	1,018	482	1,240	-	-	(291)	
法人税等合計	241	525	662	781	155	403	-	-	(122)	
非支配株主に帰属する純利益	5	4	(4)	18	27	40	-	-	+36	
親会社株主に帰属する当期純利益	414	1,002	1,205	218	299	796	-	-	(205)	
売上高伸び率	(1.4%)	+10.0%	+7.7%	+6.2%	(17.5%)	(15.0%)	-	-	-	
営業利益伸び率	(10.4%)	+17.4%	+5.7%	+2.4%	(37.4%)	(28.2%)	-	-	-	
経常利益伸び率	(14.6%)	+14.1%	+2.5%	(52.5%)	(26.9%)	(18.9%)	-	-	-	
親会社株主に帰属する当期純利益伸び率	(13.6%)	+21.2%	+9.9%	(82.5%)	(27.6%)	(20.5%)	-	-	-	
売上総利益率	71.7%	71.2%	70.9%	70.5%	70.6%	70.6%	-	-	(0.6%)	
売上高販売管理費率	54.2%	52.6%	54.8%	56.2%	57.4%	54.9%	-	-	+2.3%	
営業利益率	17.4%	18.6%	16.0%	14.3%	13.2%	15.7%	-	-	(2.9%)	
経常利益率	15.8%	17.5%	14.8%	6.3%	14.0%	16.6%	-	-	(0.8%)	
親会社株主に帰属する当期純利益率	9.9%	11.5%	9.7%	1.4%	8.7%	10.8%	-	-	(0.8%)	
法人税等合計／税金等調整前純利益	36.5%	34.3%	35.6%	76.7%	32.3%	32.5%	-	-	(1.8%)	
損益計算書	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比	
(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	純増減	
	03/2020	03/2020	03/2020	03/2020	03/2021	03/2021	03/2021	03/2021		
売上高	4,172	4,520	3,773	3,649	3,441	3,951	-	-	(569)	
売上原価	1,181	1,324	1,127	1,123	1,010	1,162	-	-	(162)	
売上総利益	2,991	3,196	2,646	2,525	2,431	2,788	-	-	(407)	
販売費及び一般管理費	2,263	2,308	2,261	2,222	1,975	2,084	-	-	(224)	
営業利益	728	887	384	303	455	704	-	-	(182)	
営業外損益	(67)	(30)	(52)	(1,144)	26	43	-	-	+73	
経常利益	660	857	331	(841)	482	747	-	-	(109)	
特別損益	-	14	0	(3)	-	10	-	-	(3)	
税金等調整前純利益	660	871	331	(845)	482	758	-	-	(113)	
法人税等合計	241	284	137	118	155	247	-	-	(36)	
非支配株主に帰属する純利益	5	(1)	(8)	22	27	13	-	-	+14	
親会社株主に帰属する当期純利益	414	588	202	(986)	299	497	-	-	(91)	
売上高伸び率	(1.4%)	+23.3%	+2.7%	+1.2%	(17.5%)	(12.6%)	-	-	-	
営業利益伸び率	(10.4%)	+57.4%	(25.5%)	(15.3%)	(37.4%)	(20.6%)	-	-	-	
経常利益伸び率	(14.6%)	+53.7%	(30.1%)	-	(26.9%)	(12.8%)	-	-	-	
親会社株主に帰属する当期純利益伸び率	(13.6%)	+69.0%	(24.8%)	-	(27.6%)	(15.5%)	-	-	-	
売上総利益率	71.7%	70.7%	70.1%	69.2%	70.6%	70.6%	-	-	(0.1%)	
売上高販売管理費率	54.2%	51.1%	59.9%	60.9%	57.4%	52.7%	-	-	+1.7%	
営業利益率	17.4%	19.6%	10.2%	8.3%	13.2%	17.8%	-	-	(1.8%)	
経常利益率	15.8%	19.0%	8.8%	(23.1%)	14.0%	18.9%	-	-	(0.0%)	
親会社株主に帰属する当期純利益率	9.9%	13.0%	5.4%	(27.0%)	8.7%	12.6%	-	-	(0.4%)	
法人税等合計／税金等調整前純利益	36.5%	32.6%	41.4%	(14.1%)	32.3%	32.7%	-	-	+0.0%	

出所：会社データ、弊社計算

報告セグメント（四半期累計／四半期）

報告セグメント (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2020	2Q累計 03/2020	3Q累計 03/2020	4Q累計 03/2020	1Q 03/2021	2Q累計 03/2021	3Q累計 03/2021	4Q累計 03/2021		
ウォーターヘルスケア事業	3,780	7,765	11,037	14,233	3,056	6,565	-	-	(1,199)	
医療関連事業	392	928	1,430	1,883	384	827	-	-	(100)	
売上高	4,172	8,693	12,467	16,116	3,441	7,393	-	-	(1,300)	
ウォーターヘルスケア事業	(4.6%)	+6.4%	+3.6%	+2.2%	(19.1%)	(15.5%)	-	-	-	
医療関連事業	+45.6%	+54.8%	+55.6%	+49.9%	(1.9%)	(10.8%)	-	-	-	
売上高(前年比)	(1.4%)	+10.0%	+7.7%	+6.2%	(17.5%)	(15.0%)	-	-	-	
ウォーターヘルスケア事業	90.6%	89.3%	88.5%	88.3%	88.8%	88.8%	-	-	-	
医療関連事業	9.4%	10.7%	11.5%	11.7%	11.2%	11.2%	-	-	-	
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	
ウォーターヘルスケア事業	640	1,414	1,721	1,971	428	1,109	-	-	(305)	
医療関連事業	87	201	278	331	26	51	-	-	(150)	
営業利益	728	1,615	2,000	2,303	455	1,160	-	-	(455)	
ウォーターヘルスケア事業	(19.7%)	+6.2%	(5.7%)	(8.4%)	(33.1%)	(21.6%)	-	-	-	
医療関連事業	+521.5%	+352.1%	+317.0%	+243.4%	(69.3%)	(74.5%)	-	-	-	
営業利益(前年比)	(10.4%)	+17.4%	+5.7%	+2.4%	(37.4%)	(28.2%)	-	-	-	
ウォーターヘルスケア事業	88.0%	87.5%	86.1%	85.6%	94.1%	95.6%	-	-	-	
医療関連事業	12.0%	12.5%	13.9%	14.4%	5.9%	4.4%	-	-	-	
営業利益(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	
ウォーターヘルスケア事業	16.9%	18.2%	15.6%	13.9%	14.0%	16.9%	-	-	(1.3%)	
医療関連事業	22.3%	21.7%	19.4%	17.6%	7.0%	6.2%	-	-	(15.5%)	
営業利益率	17.4%	18.6%	16.0%	14.3%	13.2%	15.7%	-	-	(2.9%)	
報告セグメント (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
1Q 03/2020	2Q 03/2020	3Q 03/2020	4Q 03/2020	1Q 03/2021	2Q 03/2021	3Q 03/2021	4Q 03/2021			
ウォーターヘルスケア事業	3,780	3,984	3,272	3,195	3,056	3,508	-	-	(476)	
医療関連事業	392	536	501	453	384	442	-	-	(93)	
売上高	4,172	4,520	3,773	3,649	3,441	3,951	-	-	(569)	
ウォーターヘルスケア事業	(4.6%)	+19.5%	(2.5%)	(2.2%)	(19.1%)	(11.9%)	-	-	-	
医療関連事業	+45.6%	+62.3%	+57.0%	+34.3%	(1.9%)	(17.4%)	-	-	-	
売上高(前年比)	(1.4%)	+23.3%	+2.7%	+1.2%	(17.5%)	(12.6%)	-	-	-	
ウォーターヘルスケア事業	90.6%	88.1%	86.7%	87.6%	88.8%	88.8%	-	-	-	
医療関連事業	9.4%	11.9%	13.3%	12.4%	11.2%	11.2%	-	-	-	
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	
ウォーターヘルスケア事業	640	773	307	249	428	680	-	-	(93)	
医療関連事業	87	114	76	53	26	24	-	-	(89)	
営業利益	728	887	384	303	455	704	-	-	(182)	
ウォーターヘルスケア事業	(19.7%)	+45.0%	(37.7%)	(23.8%)	(33.1%)	(12.1%)	-	-	-	
医療関連事業	+521.5%	+274.0%	+246.4%	+78.8%	(69.3%)	(78.5%)	-	-	-	
営業利益(前年比)	(10.4%)	+57.4%	(25.5%)	(15.3%)	(37.4%)	(20.6%)	-	-	-	
ウォーターヘルスケア事業	88.0%	87.1%	80.1%	82.4%	94.1%	96.5%	-	-	-	
医療関連事業	12.0%	12.9%	19.9%	17.6%	5.9%	3.5%	-	-	-	
営業利益(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	
ウォーターヘルスケア事業	16.9%	19.4%	9.4%	7.8%	14.0%	19.4%	-	-	(0.0%)	
医療関連事業	22.3%	21.3%	15.3%	11.8%	7.0%	5.5%	-	-	(15.7%)	
営業利益率	17.4%	19.6%	10.2%	8.3%	13.2%	17.8%	-	-	(1.8%)	

出所：会社データ、弊社計算

貸借対照表（四半期）

貸借対照表 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2020	2Q 03/2020	3Q 03/2020	4Q 03/2020	1Q 03/2021	2Q 03/2021	3Q 03/2021	4Q 03/2021		
現金及び預金	8,136	8,593	8,832	8,540	11,033	11,996	-	-	-	+3,403
受取手形及び売掛金	5,252	5,449	4,809	4,771	4,456	4,264	-	-	-	(1,184)
たな卸資産	964	821	926	974	1,066	964	-	-	-	+143
その他	796	689	776	188	573	486	-	-	-	(202)
流動資産	15,150	15,552	15,345	14,474	17,130	17,712	-	-	-	+2,159
有形固定資産	3,528	3,594	3,597	3,567	3,729	3,885	-	-	-	+291
無形固定資産	553	546	534	569	568	556	-	-	-	+10
投資その他の資産合計	3,628	3,627	3,938	3,804	3,452	3,445	-	-	-	(182)
固定資産	7,709	7,768	8,071	7,941	7,750	7,887	-	-	-	+119
資産合計	22,860	23,321	23,416	22,416	24,880	25,600	-	-	-	+2,278
支払手形及び買掛金他	927	839	1,019	759	809	769	-	-	-	(69)
社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1年内返済予定の長期借入金	12	13	11	11	3,011	3,012	-	-	-	+2,999
その他	2,422	2,302	1,905	3,835	3,825	4,052	-	-	-	+1,749
流動負債	3,362	3,155	2,936	4,606	7,646	7,834	-	-	-	+4,678
社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長期借入金	11	10	12	11	10	9	-	-	-	(1)
その他	2,133	2,223	2,355	674	660	697	-	-	-	(1,525)
固定負債	2,144	2,233	2,368	686	671	706	-	-	-	(1,527)
負債合計	5,507	5,389	5,304	5,293	8,317	8,540	-	-	-	+3,151
株主資本	17,082	17,670	17,873	16,850	16,318	16,769	-	-	-	(901)
その他合計	270	261	238	272	244	290	-	-	-	+28
純資産	17,352	17,932	18,111	17,123	16,563	17,059	-	-	-	(872)
負債純資産合計	22,860	23,321	23,416	22,416	24,880	25,600	-	-	-	+2,278
自己資本	17,024	17,607	17,798	16,779	16,219	16,682	-	-	-	(925)
有利子負債	24	24	23	22	3,022	3,021	-	-	-	+2,997
ネットデット	(8,111)	(8,569)	(8,808)	(8,517)	(8,011)	(8,974)	-	-	-	(405)
自己資本比率	74.5%	75.5%	76.0%	74.9%	65.2%	65.2%	-	-	-	(10.3%)
ネットデットエクイティ比率	(47.6%)	(48.7%)	(49.5%)	(50.8%)	(49.4%)	(53.8%)	-	-	-	(5.1%)
ROE(12ヵ月)	7.0%	8.2%	7.8%	1.3%	0.6%	0.1%	-	-	-	(8.2%)
ROA(12ヵ月)	8.6%	9.7%	9.2%	4.5%	3.5%	2.9%	-	-	-	(6.8%)
在庫回転日数	74	57	75	79	96	76	-	-	-	-
当座比率	398%	445%	465%	289%	203%	208%	-	-	-	-
流動比率	451%	493%	523%	314%	224%	226%	-	-	-	-

出所：会社データ、弊社計算

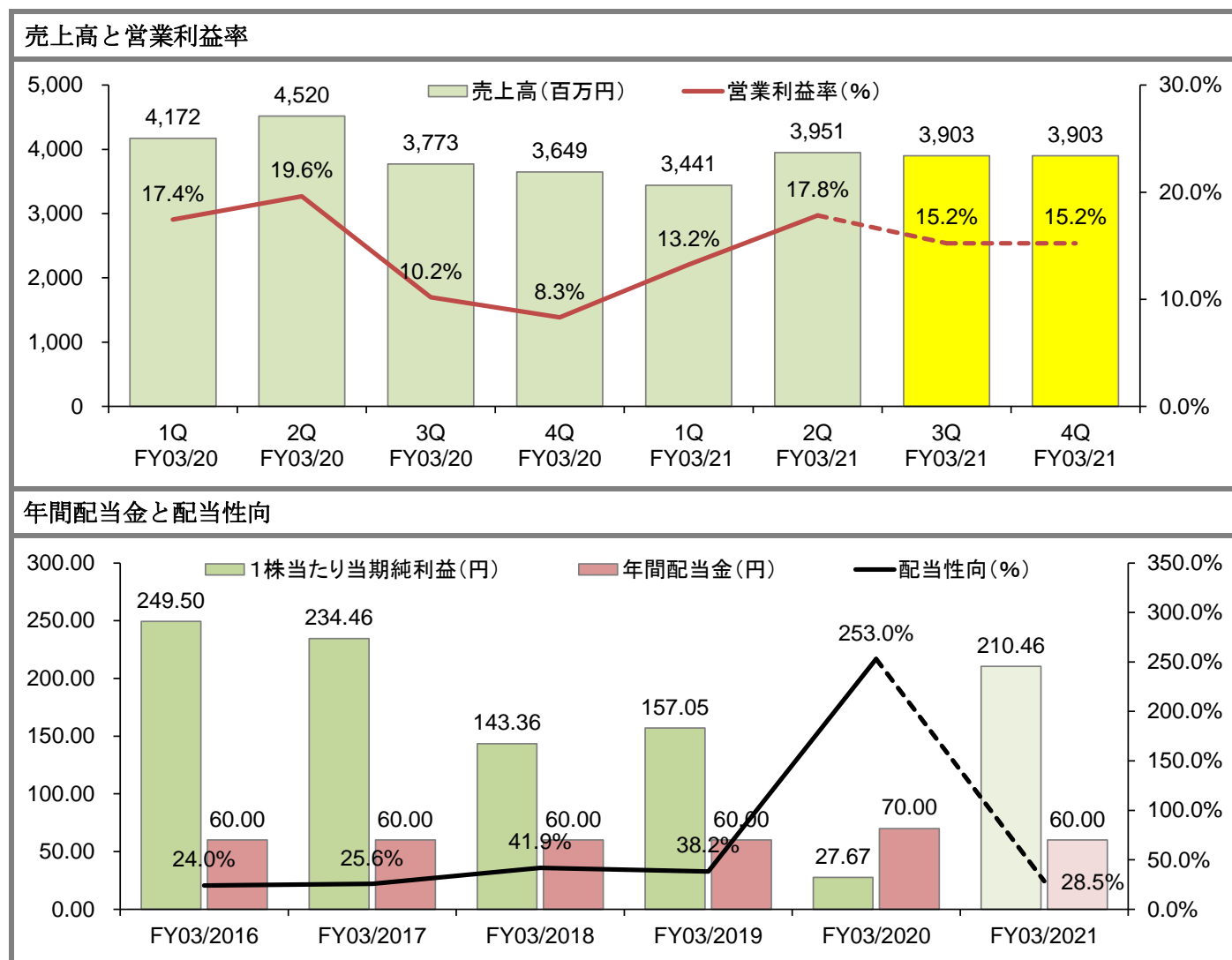
キャッシュフロー計算書（四半期累計）

キャッシュフロー計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 03/2020	2Q累計 03/2020	3Q累計 03/2020	4Q累計 03/2020	1Q 03/2021	2Q累計 03/2021	3Q累計 03/2021	4Q累計 03/2021		
営業活動によるキャッシュフロー	-	696	-	1,823	-	1,689	-	-	-	+992
投資活動によるキャッシュフロー	-	(1,504)	-	(2,644)	-	(334)	-	-	-	+1,169
営業活動CF+投資活動CF	-	(807)	-	(820)	-	1,354	-	-	-	+2,161
財務活動によるキャッシュフロー	-	(477)	-	(518)	-	2,116	-	-	-	+2,593

出所：会社データ、弊社計算

2021年3月期会社予想

2021年3月期に対する会社予想（開示：2020年10月26日）では、売上高15,200百万円（前年比5.7%減）、営業利益2,350百万円（2.0%増）、経常利益2,450百万円（143.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,640百万円（650.7%増）、営業利益率15.5%（1.2%ポイント上昇）が見込まれている。また、当初の会社予想との比較では増額修正が行われている。増額幅は、売上高で690百万円（4.8%）、営業利益で580百万円（32.8%）である。



出所：会社データ、弊社計算（2021年3月期3Q及び4Q：下半期に対する会社予想を均等に按分）

上述の会社予想の増額修正を受けて、年間配当金予定も増額修正されている。当初の会社予想が開示された段階においては、新型コロナウイルス感染症の影響が不透明であったことから、年間配当金予定35.00円と、2020年3月期に対して実施された70.00円（配当性向253.0%）との比較で年間配当金を半減させることが予定されていた。一方、現状に至る経緯においては、年間配当金予定60.00円（配当性向28.5%）へと25.00円に及ぶ増額修正が行われている。同社は、配当の基本的方針として安定配当を旨とする一方、業績に応じて配当水準を高めていくことを標榜している。

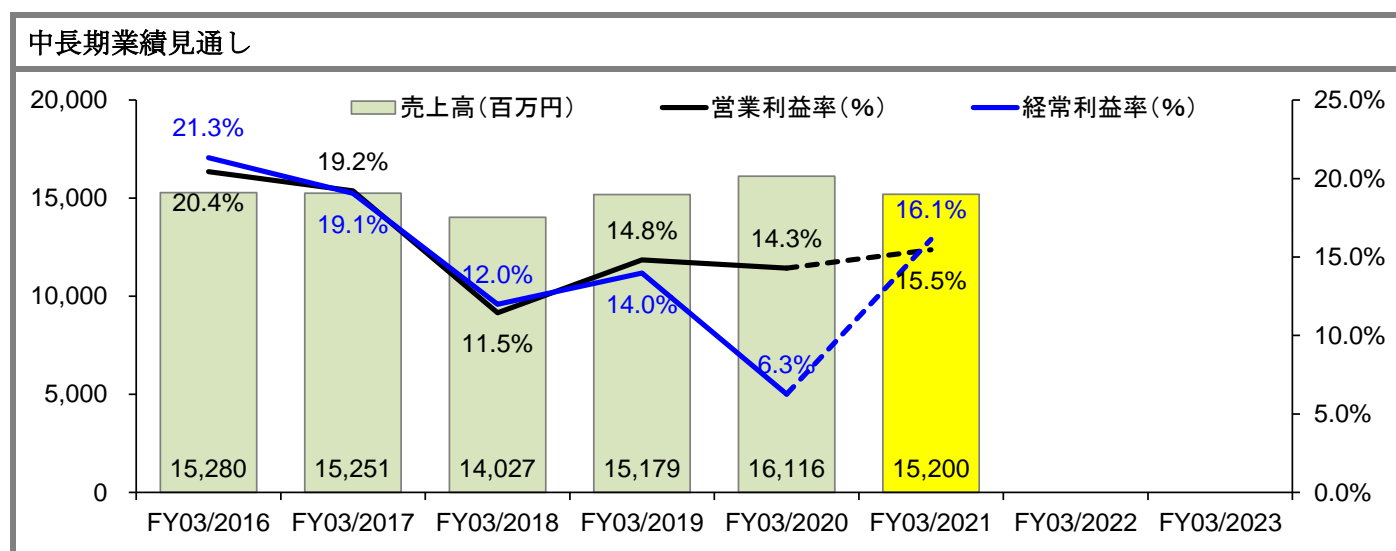
2021年3月期に対する会社予想

連結通期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
FY03/2021会予	2020年5月14日	4Q決算発表	14,510	1,770	1,870	1,220
FY03/2021会予	2020年8月5日	1Q決算発表	14,510	1,770	1,870	1,220
FY03/2021会予	2020年10月26日	業績予想修正	15,200	2,350	2,450	1,640
		増減額	690	580	580	420
		増減率	4.8%	32.8%	31.0%	34.4%
FY03/2021会予	2020年10月29日	2Q決算発表	15,200	2,350	2,450	1,640
		増減額	0	0	0	0
		増減率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
FY03/2021会予	2020年5月14日	4Q決算発表	14,510	1,770	1,870	1,220
FY03/2021会予	2020年10月29日	2Q決算発表	15,200	2,350	2,450	1,640
		増減額	690	580	580	420
		増減率	4.8%	32.8%	31.0%	34.4%
連結半期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
1Q-2Q FY03/2021会予	2020年5月14日	4Q決算発表	6,190	360	410	260
1Q-2Q FY03/2021会予	2020年8月5日	1Q決算発表	6,190	360	410	260
1Q-2Q FY03/2021会予	2020年10月26日	業績予想修正	7,390	1,160	1,230	795
		増減額	1,200	800	820	535
		増減率	19.4%	222.2%	200.0%	205.8%
1Q-2Q FY03/2021実績	2020年10月29日	2Q決算発表	7,393	1,160	1,230	796
		増減額	3	0	0	1
		増減率	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
1Q-2Q FY03/2021会予	2020年5月14日	4Q決算発表	6,190	360	410	260
1Q-2Q FY03/2021実績	2020年10月29日	2Q決算発表	7,393	1,160	1,230	796
		増減額	1,203	800	820	536
		増減率	19.4%	222.2%	200.0%	206.2%
連結半期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
3Q-4Q FY03/2021会予	2020年5月14日	4Q決算発表	8,320	1,410	1,460	960
3Q-4Q FY03/2021会予	2020年8月5日	1Q決算発表	8,320	1,410	1,460	960
3Q-4Q FY03/2021会予	2020年10月26日	業績予想修正	7,810	1,190	1,220	845
		増減額	(510)	(220)	(240)	(115)
		増減率	(6.1%)	(15.6%)	(16.4%)	(12.0%)
3Q-4Q FY03/2021会予	2020年10月29日	2Q決算発表	7,807	1,190	1,220	844
		増減額	(3)	0	0	(1)
		増減率	(0.0%)	0.0%	0.0%	(0.1%)
3Q-4Q FY03/2021会予	2020年5月14日	4Q決算発表	8,320	1,410	1,460	960
3Q-4Q FY03/2021会予	2020年10月29日	2Q決算発表	7,807	1,190	1,220	844
		増減額	(513)	(220)	(240)	(116)
		増減率	(6.2%)	(15.6%)	(16.4%)	(12.1%)

出所：会社データ、弊社計算

中長期業績見通し

同社は、2019年3月期から2023年3月期に向けての5年間で1つの目途として、「グローバルなメディカルカンパニー」へと徐々に推移していくことを計画している。また、効率的で筋肉質な経営が目指されており、経常利益率を1つの経営指標としているとのことである。中長期的な目標としては、経常利益率25%以上の達成が掲げられている。一方、2020年3月期においては経常利益率6.3%であったのに対して、2021年3月期に対する会社予想においては経常利益率16.1%が見込まれている。同社では、2020年3月期の営業外損益において、中国における病院経営に係る一時的な損失の計上が発生しているのだが、2021年3月期に向けては、これが一巡するとのことである。



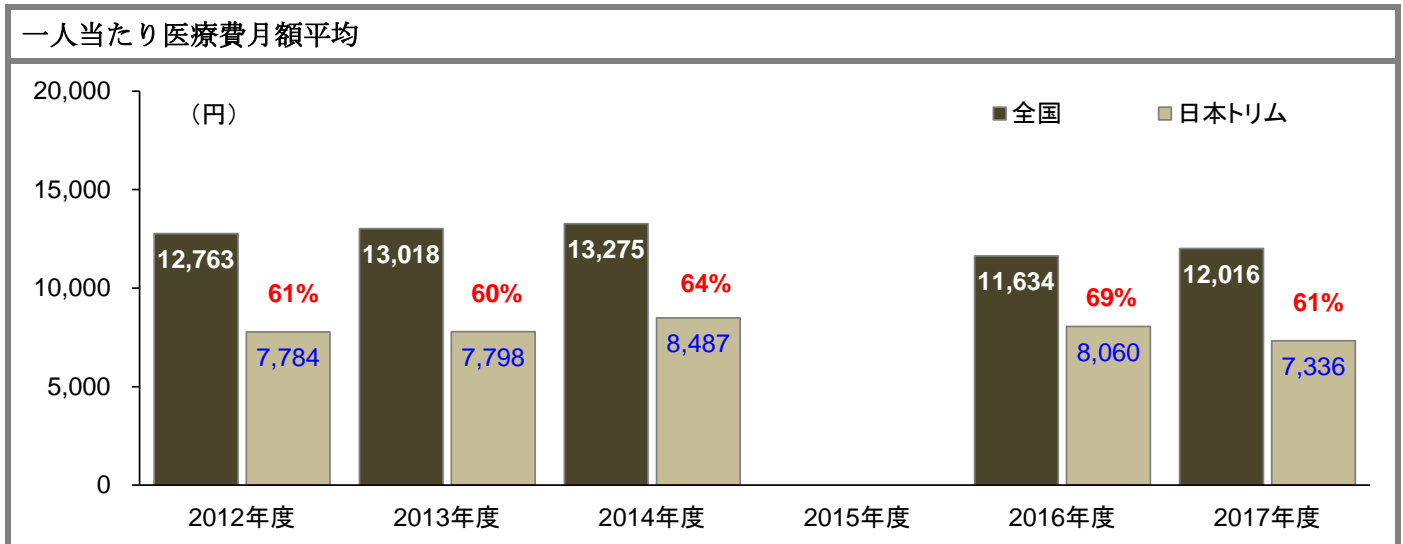
出所：会社データ、弊社計算

代表取締役社長である森澤紳勝氏は、2020年10月29日に開催された決算説明会において、「グローバルなメディカルカンパニー」へと徐々に推移していくため、「直販（職域販売などの対面販売）／Web販売の強化」を推進し、「電解水素水の機序解明」に対して継続的に取り組む一方、「海外事業の拡充」や「電解水透析事業の本格化」を促すと同時に「再生医療分野の基盤強化・拡充」や「中国での病院経営事業」を経営のテーマとしていることを明らかにしている。

4.0 ビジネスモデル

電解水素水の機序解明

同社は、電解水素水の機序解明に向けて、産官学などでの共同研究を精力的に展開している。例えば、高知県須崎市とは、電解水素水の飲用習慣と医療費の相関性に関する研究が行われている。電解水素水の飲用習慣のある同社の従業員における一人当たり医療費月額平均は、全国平均の60%~70%前後に留まっているとのことである。また、年齢層別に観ても同様とされている。厚生労働省から胃腸を整える効果がある、家庭用の管理医療機器として認定されている同社の電解水素水整水器によって生成される電解水素水の飲用習慣は、健康維持増進に寄与することに加えて、医療費の削減にもつながる可能性が示唆されている。



出所：会社データ（2012年度～2014年度：協会けんぽ「事業所健康度診断」、2015年度：協会けんぽから健保連に移行したためデータなし、2016年度～2017年度：健康組合医療費の動向に関する調査）

一方、高知県須崎市及び高知大学医学部とは、生活習慣病への飲用効果に関する共同研究を行っているとのことである。更に、2021年3月期の期末に向けては、東北大学大学院医学系研究科との糖尿病への飲用効果に関する共同論文や、国立研究開発法人理化学研究所との電解水素水に関する包括的研究（基礎・動物・臨床試験を同時進行中）に関する共同論文など、総計で7報ほどの論文が投稿される予定とのことである。こういった研究の成果による電解水素水の機序解明やエビデンスの構築の進捗が、同社の電解水素水整水器の普及拡大に寄与していくとされている。

5.0 財務諸表

損益計算書

損益計算書 (百万円)	連結実績 通期 03/2016	連結実績 通期 03/2017	連結実績 通期 03/2018	連結実績 通期 03/2019	連結実績 通期 03/2020	連結予想 通期 03/2021	前年比 純増減
売上高	15,280	15,251	14,027	15,179	16,116	15,200	(916)
売上原価	3,840	3,860	4,225	4,332	4,757	4,450	(307)
売上総利益	11,439	11,390	9,802	10,847	11,359	10,750	(609)
販売費及び一般管理費	8,315	8,461	8,196	8,596	9,056	8,400	(656)
営業利益	3,123	2,929	1,606	2,250	2,303	2,350	+46
営業外損益	135	(23)	75	(128)	(1,295)	100	+1,395
経常利益	3,258	2,905	1,681	2,121	1,007	2,450	+1,442
特別損益	-	71	161	(66)	10	-	-
税金等調整前純利益	3,258	2,976	1,842	2,055	1,018	-	-
法人税等合計	1,168	932	607	772	781	-	-
非支配株主に帰属する純利益	(14)	74	53	32	18	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	2,104	1,969	1,181	1,250	218	1,640	+1,421
売上高伸び率	+19.1%	(0.2%)	(8.0%)	+8.2%	+6.2%	(5.7%)	-
営業利益伸び率	+38.7%	(6.2%)	(45.2%)	+40.1%	+2.4%	+2.0%	-
経常利益伸び率	+28.9%	(10.8%)	(42.1%)	+26.2%	(52.5%)	+143.1%	-
親会社株主に帰属する当期純利益伸び率	+61.0%	(6.4%)	(40.0%)	+5.8%	(82.5%)	+650.7%	-
売上総利益率	74.9%	74.7%	69.9%	71.5%	70.5%	70.7%	+0.2%
売上高販売管理費率	54.4%	55.5%	58.4%	56.6%	56.2%	55.3%	(0.9%)
営業利益率	20.4%	19.2%	11.5%	14.8%	14.3%	15.5%	+1.2%
経常利益率	21.3%	19.1%	12.0%	14.0%	6.3%	16.1%	+9.9%
親会社株主に帰属する当期純利益率	13.8%	12.9%	8.4%	8.2%	1.4%	10.8%	+9.4%
法人税等合計/税金等調整前純利益	35.9%	31.3%	33.0%	37.6%	76.7%	-	-

出所:会社データ、弊社計算

報告セグメント

報告セグメント (百万円)	連結実績 通期 03/2016	連結実績 通期 03/2017	連結実績 通期 03/2018	連結実績 通期 03/2019	連結実績 通期 03/2020	連結予想 通期 03/2021	前年比 純増減
ウォーターヘルスケア事業	14,457	14,418	13,046	13,922	14,233	-	-
医療関連事業	822	832	981	1,256	1,883	-	-
売上高	15,280	15,251	14,027	15,179	16,116	15,200	(916)
ウォーターヘルスケア事業	+20.9%	(0.3%)	(9.5%)	+6.7%	+2.2%	-	-
医療関連事業	(6.3%)	+1.3%	+18.0%	+28.0%	+49.9%	-	-
売上高(前年比)	+19.1%	(0.2%)	(8.0%)	+8.2%	+6.2%	(5.7%)	-
ウォーターヘルスケア事業	94.6%	94.5%	93.0%	91.7%	88.3%	-	-
医療関連事業	5.4%	5.5%	7.0%	8.3%	11.7%	-	-
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
ウォーターヘルスケア事業	3,159	2,898	1,629	2,153	1,971	-	-
医療関連事業	(35)	30	(23)	96	331	-	-
営業利益	3,123	2,929	1,606	2,250	2,303	2,350	+46
ウォーターヘルスケア事業	+43.3%	(8.3%)	(43.8%)	+32.1%	(8.4%)	-	-
医療関連事業	-	-	-	-	+243.4%	-	-
営業利益(前年比)	+38.7%	(6.2%)	(45.2%)	+40.1%	+2.4%	+2.0%	-
ウォーターヘルスケア事業	101.1%	98.9%	101.5%	95.7%	85.6%	-	-
医療関連事業	(1.1%)	1.1%	(1.5%)	4.3%	14.4%	-	-
営業利益(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
ウォーターヘルスケア事業	21.9%	20.1%	12.5%	15.5%	13.9%	-	-
医療関連事業	(4.4%)	3.7%	(2.4%)	7.7%	17.6%	-	-
営業利益率	20.4%	19.2%	11.5%	14.8%	14.3%	15.5%	+1.2%

出所:会社データ、弊社計算

貸借対照表

貸借対照表 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
	通期 03/2016	通期 03/2017	通期 03/2018	通期 03/2019	通期 03/2020	通期 03/2021	
現金及び預金	12,595	11,480	11,520	9,885	8,540	-	-
受取手形及び売掛金	4,696	4,651	4,381	4,726	4,771	-	-
たな卸資産	701	809	934	1,036	974	-	-
その他	291	287	212	156	188	-	-
流動資産	18,283	17,228	17,050	15,805	14,474	-	-
有形固定資産	3,486	3,542	3,568	3,519	3,567	-	-
無形固定資産	702	635	609	562	569	-	-
投資その他の資産合計	1,231	2,611	2,809	2,726	3,804	-	-
固定資産	5,420	6,789	6,987	6,808	7,941	-	-
資産合計	23,704	24,018	24,038	22,613	22,416	-	-
支払手形及び買掛金他	962	812	822	914	759	-	-
社債	-	300	-	-	-	-	-
1年内返済予定の長期借入金	-	1,426	13	12	11	-	-
その他	2,563	1,785	2,249	3,706	3,835	-	-
流動負債	3,526	4,323	3,085	4,632	4,606	-	-
社債	300	-	-	-	-	-	-
長期借入金	1,126	-	1,497	12	11	-	-
その他	1,517	1,559	1,667	571	674	-	-
固定負債	2,944	1,559	3,164	584	686	-	-
負債合計	6,471	5,883	6,249	5,217	5,293	-	-
株主資本	16,884	17,787	17,458	17,141	16,850	-	-
その他合計	349	347	330	253	272	-	-
純資産	17,233	18,135	17,788	17,395	17,123	-	-
負債純資産合計	23,704	24,018	24,038	22,613	22,416	-	-
自己資本	16,819	17,754	17,425	17,075	16,779	-	-
有利子負債	1,426	1,726	1,510	25	22	-	-
ネットデット	(11,168)	(9,753)	(10,009)	(9,860)	(8,517)	-	-
自己資本比率	71.0%	73.9%	72.5%	75.5%	74.9%	-	-
ネットデットエクイティ比率	(66.4%)	(54.9%)	(57.4%)	(57.7%)	(50.8%)	-	-
ROE(12カ月)	13.0%	11.4%	6.7%	7.2%	1.3%	-	-
ROA(12カ月)	14.4%	12.2%	7.0%	9.1%	4.5%	-	-
在庫回転日数	67	77	81	87	75	-	-
当座比率	490%	373%	515%	315%	289%	-	-
流動比率	518%	398%	553%	341%	314%	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
	通期 03/2016	通期 03/2017	通期 03/2018	通期 03/2019	通期 03/2020	通期 03/2021	
営業活動によるキャッシュフロー	2,573	1,438	2,151	1,875	1,823	-	-
投資活動によるキャッシュフロー	(768)	(1,134)	(321)	(500)	(2,644)	-	-
営業活動CF+投資活動CF	1,804	303	1,830	1,375	(820)	-	-
財務活動によるキャッシュフロー	(871)	(969)	(1,890)	(3,115)	(518)	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

1株当たりデータ

1株当たりデータ (株式分割調整前) (円)	連結実績 通期 03/2016	連結実績 通期 03/2017	連結実績 通期 03/2018	連結実績 通期 03/2019	連結実績 通期 03/2020	連結予想 通期 03/2021	前年比 純増減
期末発行済株式数(千株)	8,657	8,657	8,657	8,657	8,657	-	-
当期純利益/ EPS(千株)	8,437	8,402	8,244	7,962	7,895	-	-
期末自己株式数(千株)	248	323	542	761	775	-	-
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整後)	249.50	234.46	143.36	157.05	27.67	210.46	-
1株当たり純資産	2,000.12	2,130.27	2,147.35	2,162.68	2,128.85	-	-
1株当たり配当金	60.00	60.00	60.00	60.00	70.00	60.00	-
1株当たりデータ (株式分割調整後) (円)	連結実績 通期 03/2016	連結実績 通期 03/2017	連結実績 通期 03/2018	連結実績 通期 03/2019	連結実績 通期 03/2020	連結予想 通期 03/2021	前年比 純増減
株式分割ファクター	1	1	1	1	1	1	-
1株当たり当期純利益	249.50	234.46	143.36	157.05	27.67	210.46	-
1株当たり純資産	2,000.12	2,130.27	2,147.35	2,162.68	2,128.85	-	-
1株当たり配当金	60.00	60.00	60.00	60.00	70.00	60.00	-
配当性向	24.0%	25.6%	41.9%	38.2%	253.0%	28.5%	-

出所:会社データ、弊社計算

6.0 その他の情報

沿革

年月	事項
1982年6月	電解水素水整水器の製造及び販売を目的として、株式会社日本トリム設立
1983年5月	電解水素水整水器『トリムイオン TI-100』が厚生省の製造承認（58B-491）を受け、販売開始
1990年2月	高知県土佐清水市に土佐清水工場（現株式会社トリムエレクトリックマシナリー）開設
1995年4月	台湾大学との共同研究を開始
1996年3月	九州大学大学院農学研究科遺伝子資源工学専攻細胞制御工学教室との共同研究開始
1996年4月	株式会社トリムエレクトリックマシナリーより営業権を譲受、製造部門を当社より譲渡
1998年1月	大阪市北区大淀中一丁目8番34号に本社を移転
2000年11月	日本証券業協会に株式を店頭登録
2002年9月	高知県南国市に株式会社トリムエレクトリックマシナリー高知工場の新設、操業開始
2003年2月	東京証券取引所市場第2部に上場
2004年3月	東京証券取引所市場第1部に上場
2004年4月	九州大学との産学共同ベンチャー、株式会社機能水細胞分析センター設立
2005年10月	中国広東省広州市に広州多寧健康科技有限公司設立
2006年10月	PT SUPER WAHANA TEHNO へ出資（持分法適用関連会社）
2007年5月	株式会社トリムジンホールディングス（持株会社）設立
2007年11月	東北大学との産学共同ベンチャー、株式会社トリムメディカルインスティテュートを設立
2010年1月	浄水カートリッジのリサイクル開始
2012年2月	株式会社トリムライフサポート設立
2012年7月	インドネシアの PT.SUPER WAHANA TEHNO を子会社化
2013年8月	本社を大阪市北区梅田二丁目2番22号 ハービス ENT オフィスタワー22F に移転
2013年9月	株式会社ステムセル研究所を子会社化
2014年4月	電解水素水整水器『トリムイオン HYPER』販売開始
2014年10月	還元野菜整水器（農業用整水器）『TRIM AG-10』『TRIM AG-30』販売開始
2015年3月	株式会社トリムジンホールディングスが株式会社トリムメディカルホールディングスに商号変更
2015年7月	南国市、JA 南国市、高知県、高知大学との「還元野菜プロジェクト」推進連携協定を締結
2016年2月	株式会社ステムセル研究所の細胞処理センターが「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づく、特定細胞加工物製造許可を取得
2016年4月	株式会社トリムメディカルホールディングスが中華人民共和国における慢性期疾患治療病院運営事業に参画
2016年9月	電解水透析用逆浸透精製水製造システム『EW-SP11-HD』販売開始
2016年10月	業務用整水器『TI-10』『TI-30』販売開始
2016年10月	東北大学と電解水透析の共同研究部門設立
2017年5月	株式会社トリムメディカルホールディングスがストレックス株式会社を子会社化
2017年5月	国立研究開発法人理化学研究所との共同研究を開始
2017年7月	『トリム電解水素水サーバー』発売開始
2017年9月	電解水素水整水器『トリムイオン GRACE』発売開始
2018年5月	中華人民共和国において北京漢琨医院が開院
2019年6月	ボトルドウォーター『I'm fine』リニューアル発売開始

Disclaimer

ここでの情報は、ウォールデンリサーチジャパンが当該事業会社の発信する「IR情報」を中立的かつ専門的な立場から要約して、レポート形式にまとめたものである。「IR情報」とは、すなわち当該事業会社に係る①弊社との個別取材の内容、②機関投資家向け説明会の内容、③適時開示情報、④ホームページの内容などである。

商号：株式会社ウォールデンリサーチジャパン

本店所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目14番8号 銀座石井ビル4階

URL：www.walden.co.jp

E-mail：info@walden.co.jp

Tel: 03-3553-3769